＜農業大学生　申請用＞

記入例

受付番号※	令8奨農
受付日※	

※事務局記入欄

申請日　令和8年 XX 月 XX 日

公益財団法人 G-7 奨学財団
代表理事　井上　登志男　殿

応募に関しての注意事項

☆申請書類はパソコンで入力し、Ⅰ～Ⅴの申請書毎になるよう改ページの指定を厳守の上、片面印刷してください。（手書不可）印刷した書類に署名・捺印の上、提出してください。（但し奨学金申請書の奨学金担当者情報記入欄、推薦書の手書きは可、及び軽微な手書き修正は可とします。）

☆申請書類はステープラー（ホチキス）でとめないでください。まとめる場合は、ゼムクリップでとめてください。

☆誓約書は採択後に提出していただきます。申請時には不要です。

☆在籍農業大学校や学年は令和8年度4月時点として記入してください。

申　請　者
申請者住所　〇〇 県〇〇 XX-XX
在籍　〇〇〇〇 農業大学校
専攻　〇〇〇〇
学年　X 年
氏名　〇〇 〇〇 ㊞

令和8年度　奨学金助成事業（農業大学校）　交付申請書

助成金の交付を希望しますので、下記の通り関係書類を添えて申請いたします。
なお、助成金の交付を受けた場合には、公募要領及び関係規程の定めに従います。

申請書類（奨学金助成）
- Ⅰ　奨学金申請書
- Ⅱ　奨学金申請理由書
- Ⅲ　家庭状況調査書（1/2）
- Ⅳ　家庭状況調査書（2/2）
- Ⅴ　推薦書

☆付属書類として「成績証明書」及びⅢ　家庭状況調査書（1/2）に沿った「証明書」の提出が必要です。

改ページ

＜農業大学生　申請用＞

申請日　令和8年 XX 月 XX 日

奨学金申請書

申請者氏名（フリガナ）	○○　○○　（○○○○　○○○○）			写真（デジタル写真可） （縦4×横3cm） 申請時３ヶ月以内 カラー 正面、無帽、無背景 （裏に氏名記入）
生年月日	○○XX 年 XX 月 XX 日 （和暦）			
年齢	XX 歳 （令和8年4月1日時点）			
現住所	〒XXX-XXXX ○○県○○市○○XXX			
電話番号	XXX-XXX-XXXX　☆最も連絡のつきやすい番号を記入してください。			
E-Mail	○○○○@○○○○			
在籍農業大学校名	○○○○			
専攻分野	○○○○			
学年	XX 年			
学校所在地	〒XXX-XXXX ○○県○○市○○XXX			
奨学金ご担当部署名	○○○○	**電話番号**	XXXX-XX-XXXX	
奨学金ご担当者名	○○○○	**E-mail**	○○○○@○○○○	
卒業高校名	○○○○		○○XX 年卒	
その他学歴/ 直近の就労状況	○○XX 年○月～○○XX 年○月 ○○○○株式会社/○○○○専門学校卒業 ☆該当の方のみ記入してください。			
身元保証人（フリガナ）	○○　○○　（○○○○　○○○○）			
申請者との関係	○○○○			
身元保証人住所	〒XXX-XXXX ○○県○○市○○XXX			
電話番号	XXX-XXX-XXXX　☆最も連絡のつきやすい番号を記入してください。			

上記のとおり、奨学金助成事業に応募書類を添えて申請いたします。

申請者署名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

身元保証人署名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿㊞

☆申請者及び身元保証人署名は手書きで記入し捺印を行った原本の提出が必要です。

改ページ

＜農業大学生　申請用＞

☆奨学金申請理由書は全体で**3ページ**以内となるように記入してください。
☆各記入スペースは適宜調整してください。(写真図表の使用可、文字ピッチの変更不可)
☆成績証明書は原本の提出が必要です。

奨学金申請理由書

申請者氏名　　〇〇　〇〇

在籍農業大学校名	〇〇〇〇
専攻	〇〇〇〇
学年数/標準年数	XX 年生/　標準年数　XX 年
農業大学校での専攻内容	☆専攻の学問の概要、及び自身がその学問を専攻する理由や取り組み方について説明してください。
奨学金応募理由	☆社会人経験者は復学の理由(目的)も記入してください。
将来の夢 希望進路・職種	☆将来、日本の農業の発展、或いは地域の発展のために、どのように貢献しようと考えているか、その志について記入してください。 ■卒業後、どのように農業或いは地域とかかわっていこうとしているか。 ■目指す新しい農業への取組について。 ■また、これらを実現するため、学生生活でどのような課題に取り組むか 等について記入してください。
その他特記事項	☆課外活動や資格等あれば記入してください。
直近の成績	1 年生　評定平均値　X.X　(高校3年間全科目の 5 段階評価の成績の平均値) 2年生　直近1年間の成績順位　　XX 位/　XX 人中　(上位 XX　%)

3 ページ以内で記入後　改ページ

＜農業大学生　申請用＞

家庭状況調査書（1/2）

☆収入証明書等、家庭状況調査書（1/2）の証明書はコピーの提出を可とします。

申請者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

（1）家族の状況（令和8年4月 1 日時点）（同居　別居を問わない）

家族（申請者本人を含む同一生計の家族全員を記入のこと）						
番号	続柄	氏名	年齢	勤務先名/在籍学校名（学年）	就学者	就学者以外
1	本人	○○　○○	XX	○○農業大学校　XX 年	☒ 該当	☐ 該当
2	父	○○　○○	XX	○○○○商事	☐ 該当	☒ 該当
3	母	○○　○○	XX	無職（農業補助）	☐ 該当	☒ 該当
4	祖父	○○　○○	XX	無職（農業補助）	☐ 該当	☒ 該当
5	兄	○○　○○	XX	自営業（農業）	☐ 該当	☒ 該当
6	妹	○○　○○	XX	○○高校　XX 年	☒ 該当	☐ 該当

（2）家族全員の所得金額（令和7年1月～令和7年12月までの1年間）

氏名	給与所得	事業所得（確定申告額）	その他所得	その他所得の内容
○○　○○	XXX 万円	万円	XXX 万円	給付型奨学金
○○　○○	XXX 万円	XXX 万円	万円	
○○　○○	万円	万円	XXX 万円	年金
○○　○○	万円	XXX 万円	万円	
○○　○○	万円	万円	XXX 万円	家賃収入
－	遺族年金		XXX 万円	
－	養育費など別生計からの支援		XXX 万円	
合計	XXX 万円	XXX 万円	XXX 万円	（縦合計記入　要）

※収入証明書（源泉徴収票、確定申告書等（対象期間：**令和7年（1月～12月）**の所得がわかる書類）を提出してください。

成年未満および中等教育を受けている方も記入は必要ですが、収入証明の提出は免除します。

☆万円未満は切り捨てで記入してください。

☆奨学金はその他所得として給付型のみ記入してください。（貸与型は記入不要）

☆給与所得（支払金額）及び事業所得(所得金額)は、別紙参照の上記入してください。

（3）特別の事情(該当にチェックをし、必要事項を追記してください。）

項目	該当	非該当
①　申請者は所得税法上の被扶養者である	☒（扶養者：　XXX　　）	☐
②　申請者は第一種障害者に該当する（証明書提出必要）	☒	☐
③　生活保護世帯である（証明書提出必要）	☒（時期：　○○XX 年～）	☐
④　住民税の非課税世帯である（証明書提出必要）	☒（時期：　○○XX 年～）	☐
⑤　その他特別の事情があれば記入		

※④は**令和7年度非課税証明書（対象期間：令和6年（1 月～12月）**の所得が成年以上の家族全員が非課税であることとします。成年以上の家族全員の非課税証明書を提出してください。

改ページ

＜農業大学生　申請用＞

家庭状況調査書(2/2)

申請者氏名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(1)令和8年度(8年4月～9年3月)の住居予定を選択してください。

□ 1人暮らし　□学生寮/シェアハウス　□家族同居　□親戚等宅

□その他 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

(2)令和8年度(8年4月～9年3月)1年間に必要と考えられる費目(内容)の金額を記入してください。

費目(内容)	金額(万円)
① 入学金、授業料、実習費、教材費、学内研修等の学校の諸費	XXX 万円
② 資格取得費用、学外研修等の自己負担費用	XXX 万円
③ 家賃、敷金、礼金、火災保険、光熱費等(家族同居以外の場合のみ) (入寮者は④を除く寮費及び諸費用を記入してください)	XXX 万円
④ 食費、日用消耗品、通信費等	XXX 万円
⑤ その他	XXX 万円
合計	XXX 万円

(3)令和8年度(8年4月～9年3月)1年間の収入の予定を記入してください。

内容		金額(万円)
奨学金 (給付型)	○○財団 (□決定 □未決定) ☆G-7 奨学財団からの奨学金は記入しないでください。	XXX 万円
奨学金 (貸与型)	日本学生支援機構・一種貸与方(□決定 □未決定) ○○財団 (□決定 □未決定)	XXX 万円 XXX 万円
家族の支援		XXX 万円
本人の収入	☆アルバイトや臨時収入など年間の収入見込額を記入してください。	XXX 万円
合計		XXX **万円**
アルバイト等ができない場合はその理由		

(4)G-7 奨学財団　奨学金希望額

金額　XXX 万円

主たる使用用途(目的)

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

改ページ

＜農業大学生　申請用＞

<<在学生用>>

☆在籍農業大学校の推薦書様式がある場合は、当該様式は不要です。

☆新入生が令和8年度在籍する農業大学校で直接推薦を受ける場合は在学生用を使用してください。

推薦書

公益財団法人 G-7奨学財団

代表理事　　井上　登志男　殿

奨学金申請者情報　（令和8年度4月時点）☆申請者本人が記入してください。			
農業大学校名	〇〇〇〇		
専攻/学年	〇〇〇〇　X 年		
申請者氏名	〇〇　〇〇		
推薦情報　☆以下は推薦者、在籍する農業大学校で記入してもらってください。（手書き　可）			
推薦者名	〇〇　〇〇	**学生との関係**	〇〇〇〇
推薦者所属校	〇〇　〇〇	**推薦者電話番号**	XXX-XXXX-XXXX
推薦理由			

推薦校記入欄:

上記の学生は貴財団の奨学金を受けるにふさわしい者であることを認め推薦します。

日付　　令和8年　X 月　XX　日

推薦者署名　　㊞

☆推薦者署名は手書きで記入し捺印が必要です。

農業大学校長名　　㊞

☆ゴム印可とします。

＜農業大学生　申請用＞

≪新入生用≫

☆新入生は令和 8 年 4 月以前の在籍校にて記入し、令和 8 年尾の在籍農業大学校での追認が必要です。

推薦書

公益財団法人 G-7奨学財団

代表理事　　井上　登志男　殿

奨学金申請者情報 （令和8年度4月時点） ☆申請者本人が記入してください。			
農業大学校名	〇〇〇〇		
専攻/学年	〇〇〇〇　X 年		
申請者氏名	〇〇　〇〇		
推薦情報　☆以下は推薦者、推薦する学校で記入してもらってください。（手書き　可）			
推薦者名	〇〇　〇〇	**学生との関係**	〇〇〇〇
推薦者所属校	〇〇　〇〇	**推薦者電話番号**	XXX-XXXX-XXXX
推薦理由			

推薦校記入欄:

上記の生徒は貴財団の奨学金を受けるにふさわしい者であることを認め推薦します。

日付　　令和8年　X 月　XX　日

推薦者署名　　㊞

☆推薦者署名は手書きで記入し捺印が必要です。

校長名　　㊞

☆ゴム印可とします。

令和8年度在籍農業大学校追認欄:

上記の内容を確認し、貴財団の奨学金を受けるにふさわしい者であることを認め承認します。

日付　　令和8年 X 月　XX　日

農業大学校長名　　㊞

☆ゴム印可とします。

＜農業大学生　申請用＞

公益財団法人　G-7奨学財団
代表理事　井上　登志男　殿

☆誓約書は採択通知を受け取られた後に、提出いただきます。（申請時不要）

誓　約　書

私は、公益財団法人 G-7 奨学財団（以下「財団」と云う。）の令和 8 年度の奨学金助成事業の給付を受けるに当たり、下記の事項を遵守することを誓約いたします。

第 1 項　奨学金の支給休止又は廃止若しくは返還

下記の(1)及び(2)に定めるいずれかに該当することになった場合は、奨学金の支給を休止又は廃止する。(2)に定める場合には、奨学金の一部又は全部を返還する。

(1) 奨学金の支給休止

次に定める事項に該当する場合においてその理由及び原因によっては奨学金を廃止する。

① やむを得ない事情により農業大学校を休学又は長期にわたって欠席したとき
② 学業又は素行などの状況により指導上必要があると認めたとき
③ 在学する農業大学校より短期間の停学処分を受けたとき

(2) 奨学金の廃止

④ 傷い疾病などのため成業の見込みがなくなったとき
⑤ 学業成績又は操行が不良となったとき
⑥ 在学する農業大学校における学籍を失ったとき
⑦ 在学する農業大学校より長期間の停学処分を受けたとき
⑧ 財団の事務局と連絡が取れなくなったとき又はその指示や指導に従わなかったとき
⑨ 財団の名誉を傷つけ又は著しく迷惑をかけたとき
⑩ 奨学金事業に関して財団に対する虚偽の申請または報告があったとき
⑪ 知りえた個人情報等を第三者に漏洩した事実があったとき
⑫ 前各号のほか、奨学生として適当でない事実があったとき

第 2 項　財団への報告義務

次に定める場合、速やかに財団事務局へ届け出ること

① 前第 1 項に定める状況及び状態になったとき
② 在籍校、住所、電話番号やメールアドレス等、連絡先を変更したとき
③ 進級できなかったとき
④ 休学又は復学したとき
⑤ 退学したとき
⑥ その他、財団が奨学金の継続にあたって必要となると認める事項に変更があったとき

第 3 項　財団による確認及び判断

前第 2 項に定める①及び③から⑥の場合、財団は事実を確認し、第 1 項に従い奨学金の支給休止又は支給の再開若しくは廃止を判断して、それを実施する。

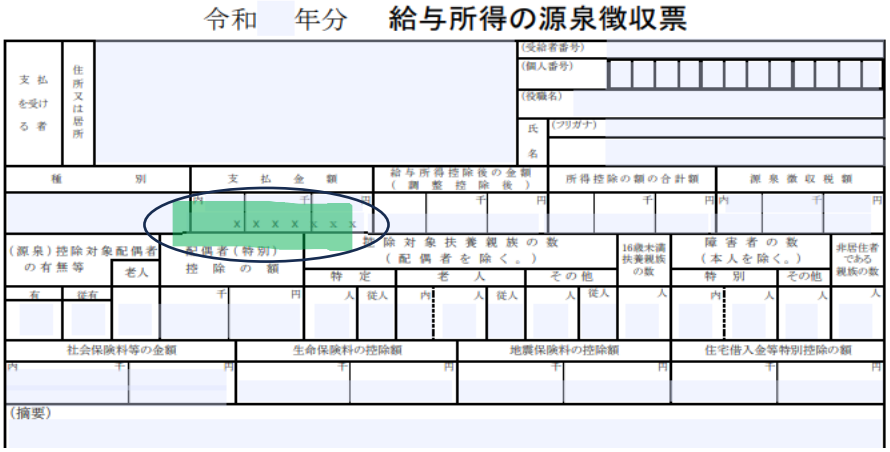
令和8年4月1日
住　所
氏　名　　㊞

<農業大学生　申請用>

別紙）家庭状況調査書（1/2）（2）家族全員の所得金額　記入について

1 名ずつ、下記緑マーカー部の金額を記入してください。

☆給与所得のみで確定申告を行っていない方・・給与所得の源泉徴収票の**支払金額（控除前）**
複数の勤務先がある場合は合計の金額を記入してください。


令和　年分　給与所得の源泉徴収票

支払を受ける者 / 住所又は居所 / (受給者番号) / (個人番号) / (役職名) / 氏名 (フリガナ)

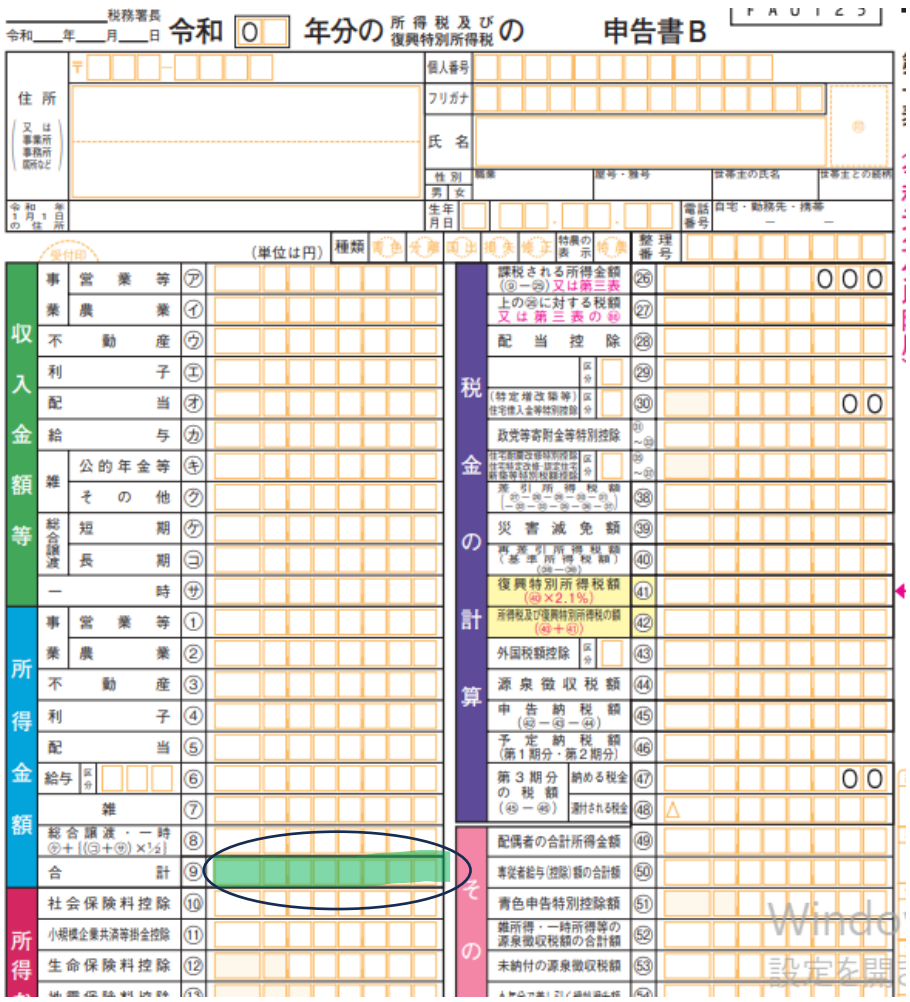
種別	支払金額	給与所得控除後の金額（調整控除後）	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額
	内 千 円	千 円	千 円	内 千 円

(源泉)控除対象配偶者の有無等	配偶者(特別)控除の額	控除対象扶養親族の数（配偶者を除く。）					16歳未満扶養親族の数	障害者の数（本人を除く。）		非居住者である親族の数
		特定	老人		その他			特別	その他	
有 / 従有	千 円	人	従人	内 人	従人	人	従人	人	内 人	人	人

社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額
内 千 円	千 円	千 円	千 円

(摘要)

☆（一部給与所得がある方を含め）確定申告を行った方・・・事業（確定申告）所得金額
収入金額から必要経費を差し引いた金額（所得金額）


税務署長 / 令和　年　月　日 令和 0 年分の所得税及び復興特別所得税の申告書B

住所（又は事業所・事務所・居所など） / 令和　年　月　日の住所 / 個人番号 / フリガナ / 氏名 / 性別 男 女 / 職業 / 屋号・雅号 / 世帯主の氏名 / 世帯主との続柄 / 生年月日 / 電話番号 自宅・勤務先・携帯

(単位は円) 種類 青色 変更 廃止 現金 振替 修正 特農の表示 特例 整理番号

収入金額等
- 事業等 ア
- 農業 イ
- 不動産 ウ
- 利子 エ
- 配当 オ
- 給与 カ
- 雑 公的年金等 キ
- 雑 その他 ク
- 総合譲渡 短期 ケ
- 総合譲渡 長期 コ
- 一時 サ

所得金額
- 事業等 ①
- 農業 ②
- 不動産 ③
- 利子 ④
- 配当 ⑤
- 給与 区分 ⑥
- 雑 ⑦
- 総合譲渡・一時 ⑧
- 合計 ⑨

所得から差し引かれる金額
- 社会保険料控除 ⑩
- 小規模企業共済等掛金控除 ⑪
- 生命保険料控除 ⑫

税金の計算
- 課税される所得金額 (⑨－㉕)又は第三表 ㉖ 000
- 上の㉖に対する税額 又は第三表の㊵ ㉗
- 配当控除 ㉘
- ㉙
- (特定増改築等)住宅借入金等特別控除 ㉚ 00
- 政党等寄附金等特別控除 ㉛～㉝
- 住宅耐震改修特別控除 住宅特定改修・認定住宅新築等特別税額控除 ㉞～㊱
- 差引所得税額 ㉖－㉘－㉙－㉚－㉛～㉝－㉞～㊱－㊲－㊳ ㊴
- 災害減免額 ㊵
- 再差引所得税額（基準所得税額）㊴－㊵ ㊶
- 復興特別所得税額 ㊶×2.1% ㊷
- 所得税及び復興特別所得税の額 ㊷＋㊸ ㊹
- 外国税額控除 区分 ㊺
- 源泉徴収税額 ㊻
- 申告納税額 ㊹－㊺－㊻ ㊼
- 予定納税額（第1期分・第2期分） ㊽ 00
- 第3期分の税額 ㊼－㊽ 納める税金 ㊾ / 還付される税金 △㊿

その他
- 配偶者の合計所得金額 (51)
- 専従者給与(控除)額の合計額 (52)
- 青色申告特別控除額 (53)
- 雑所得・一時所得等の源泉徴収税額の合計額 (54)
- 未納付の源泉徴収税額 (55)

☆給与所得（複数）や給与所得と事業所得の両方がある場合は確定申告に基づき、申告書の所得金額の合計額を事業所得の欄に記入してください。